

# ずししかんきょうかいぎ ニュース

第10号 2005年2月

事務局 逗子市環境部環境管理課

逗子市逗子5-2-16

TEL 046-873-1111 内線 256

発行 ずしし環境会議 (エコリーダーズ会議)

## かんきょう連続講演会を開催します

私たちが環境のためにできることは？

海と山に囲まれた逗子。美しい自然を次世代に引き継ぐためにはどうしたらよいでしょう。

ごみ問題、地球温暖化の問題に対して私たちができることは何があるでしょう。

私たちの未来、次世代の未来のために私たちの日々の生活でできることを考えてみませんか。

### 第1回

「①容器包装プラスチック収集を始めて5ヶ月・その問題と課題」

「②容器包装プラスチック収集についての質問コーナー」

日時：3月5日(土) 14:00~16:00

場所：市役所5階会議室

講師：容器包装リサイクル法の改正を求める全国ネットワーク事務局 服部 美佐子 氏



### 第2回

「地球環境、地球温暖化について私たちは、今何を学び、どのような行動が必要なのでしょうか。」

「-2050年の地球温暖化の予測-」

日時：3月13日(日) 14:00~16:00

場所：市役所5階会議室

講師：明治大学教授理工学部工学博士 藤井 石根 氏



### 第3回

「名越谷戸の自然環境と  
保全活用」

日時：3月20日(日) 14:00~16:00

場所：市役所5階会議室

講師：日本野鳥の会神奈川支部幹事 樋口 公平 氏



「かんきょう連続講演会」へ参加される方は、当日講演会場へお越しください。(先着100名)かんきょう連続講演会は連続参加の必要はありません。また、講演会に関して、車でなければ来場できない方やお身体の不自由な方、手話通訳を希望する方は各回開催日の10日前までに環境管理課へご相談ください

問合せ：環境部 環境管理課

TEL：046-873-1111 (内線 256)

FAX：046-873-4520

E-mail：kankyo@city.zushi.kanagawa.jp

# まちなみと緑の創造部会

まちなみと緑の創造部会は、逗子の優れた自然環境と美しい景観を、市民みんなで守る活動を、市役所と協働して進めています。

10月24日の逗子市民まつりでは、大崎の磯、田越川、名越谷戸、やまなみルート4箇所のパネル展示をしました。

- ・逗子のすばらしい自然を守り、子供たちのためにできることをしたい。
- ・逗子の環境保全に多くの市民の参加が必要。
- ・逗子の自然を守りたい。・ホテルを田越川で見たい。等の感想や意見が寄せられ、市民の自然環境への関心の高さがうかがえました。

「ワクワク・ドキドキする  
生命がいっぱいの環境の創出は  
子ども達への贈り物であり、  
それを実践するのは私たち  
大人の責務である。」

横須賀市自然・人文博物館 大場信義先生  
第1回かんきょう連続講演会(2002年3月)  
「身近な生き物と触れあえる町づくり」より

## 田んぼ見学会 (名越谷戸自然観察会)

10月11日、「日本野鳥の会」の樋口公平さんを講師に観察会が開かれました。



名越溜池 生き物調査  
協力:セタス逗子  
(シットオンタイプのシーカヤック使用)

朝まで雨だったにもかかわらず、50名程の参加がありました。谷戸の自然や野鳥を観察した後、『虹の会』の方から稲のことや田んぼ作りについてうかがい、樋口さんは「田んぼは水生生物や昆虫などを増やし、谷戸の生態系を豊かにする。」と田んぼと谷戸の環境についてお話をしました。



野鳥観察会の様子

参加者ひとりひとりが、みんなで少しずつ稲刈りをし、この田んぼを広げて  
棚田を作り、将来、小学校や中学校の体験学習の場にしたいと、夢は広がります。  
名越溜池の生き物調査では、モツゴ(クチボソ)、ザリガニ、モクズガニ、クサ  
ガメ、イシガメ(県絶滅危惧種)が見つかりました。

今、名越谷戸では..

田んぼ作りの『虹の会』や、竹林整備の『三浦竹友の会』の方たちが保全のための作業をしています。

1月の「ずし広報」で、名越緑地の里山保全活用アダプトプログラム参加者募集が始まりました。

3月20日のかんきょう連続講演会では、樋口公平さんのスライドを見ながら、名越谷戸の自然環境と保全活用について考えます。



田んぼ見学 虹の会(名越谷戸田んぼ作りボランティア)代表の挨拶

## 田越川ウォッチング

●月に1回、田越川の観察会を行っています。●

11月には清水橋から東逗子駅の田越川の中流域を、コイの数に着目して歩きました。

合計571匹ものコイを確認しました。

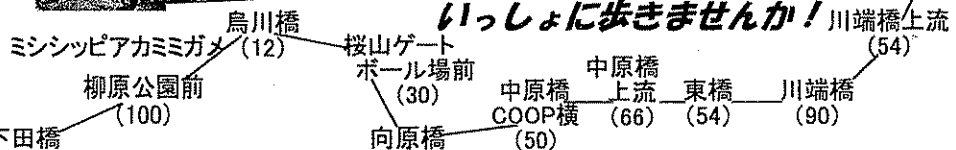
ヒトの放流や餌付けによって増えていると思われる。過剰なコイは底生動物、水草、小魚を減少させ水質悪化を招くことが知られています。



**参加者の声から**  
今までは一人で見に行くことが多かったのですが、グループで見に行くと、また多くの発見があって、充実したものでした。次回の上流編が楽しみです。

解散  
東逗子駅

いっしょに歩きませんか!

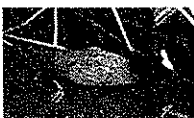


### ウォッチングで見つけた生き物

- <魚類>ボラ、クサフグ、コイ、ウグイ
- <鳥類>オオバン、コサギ、ハクセキレイ、カワセミ、カルガモ
- <その他>ミシシippアカミミガメ、モクズガニ、ヒメアカタテハ



コサギ



集合  
逗子市役所

( )はコイの数

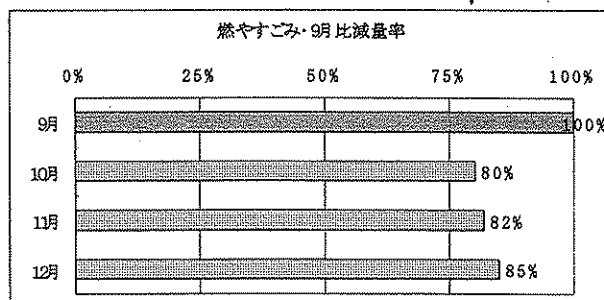
## ごみ問題部会

市民一人当たり一日のごみ排出量は5年前1.1Kgでしたが昨年12月には1Kgで約10%の減量なっています。資源化率も高まっていますので、燃やすごみ量はもっと減っていることになります。

燃やすごみゼロを目指して努力していきたいと思います。

### ◆容器プラ分別回収後のごみ量の推移

昨年の10月1日から容器包装プラスチックの分別資源回収が始まりました。市民の皆さんのご努力とご協力のおかげで、「燃やすごみ」は前の月9月に比べて、10月は20%も減りました。その後は下の表のように、残念ながら増加してきております。



### ◆市民まつりのごみ量

昨年10月24日の市民まつりでのごみの状況をお知らせします。

一昨年の市民祭りでのごみ箱設置は「びん、缶」と「その他のごみ」の2分別でしたが、今年度は容器プラの分別の実施が始まった月でもありましたので、「燃やすごみ」、「ペットボトル」、「容器包装プラスチック」、「びん・缶」、「リサイクル容器」の5分別にしました。結果としては、市民のみなさんのご協力と主催者側の努力と相まって、ごみ量全体は、前年より13%も減りました。資源化した「ペットボトル」、「容器包装プラスチック」、「びん・缶」（「リサイクル容器」）を除けば、「燃やすごみ」は30%も減ったことになります。

みなさまの意識の高まりと、ごみ部会員としては、大変喜んでおります。

### ◆貸し傘はちゃんと返却して！

昨年10月から市役所正面玄関にリサイクル傘の貸し傘を設置しました。良く利用して下さい、設置者としてはとてもうれしいのですが、利用後の返却がなく、1本もなくなってしまい、12月に13本補充しました。ご利用後はなるべく早めにお返してください。



### ◆第三回クリーンセンター見学会へのお誘い

今年度最終のクリーンセンター見学会を、次の要領で行ないます。容器包装プラスチックの処理状況などを含めて、ごみ処理の現状をつぶさに知りたいと思います。

ご参加をお待ちしています。

日時：2005年3月14日（月）14:00～16:30

集合：逗子市役所正面玄関前（13:50までに集合）

交通：市の車利用・参加無料

申込み：逗子市 環境部 環境管理課

046-873-1111 内線256

3月11日（金）までにお申込みください。

### ◆読者からのご質問

11月8日のクリーンセンター見学会の感想のなかに、ごみ処理費を聞きもらしたので、この欄で知らせてとのご要望がありましたのでお答えします。

平成14年度の資料しか手元にありませんが、それによりますと、ごみを収集し、それを焼却・選別などの処理および最終処分するのに市民1人当たり13,826円を1年間に負担しています。

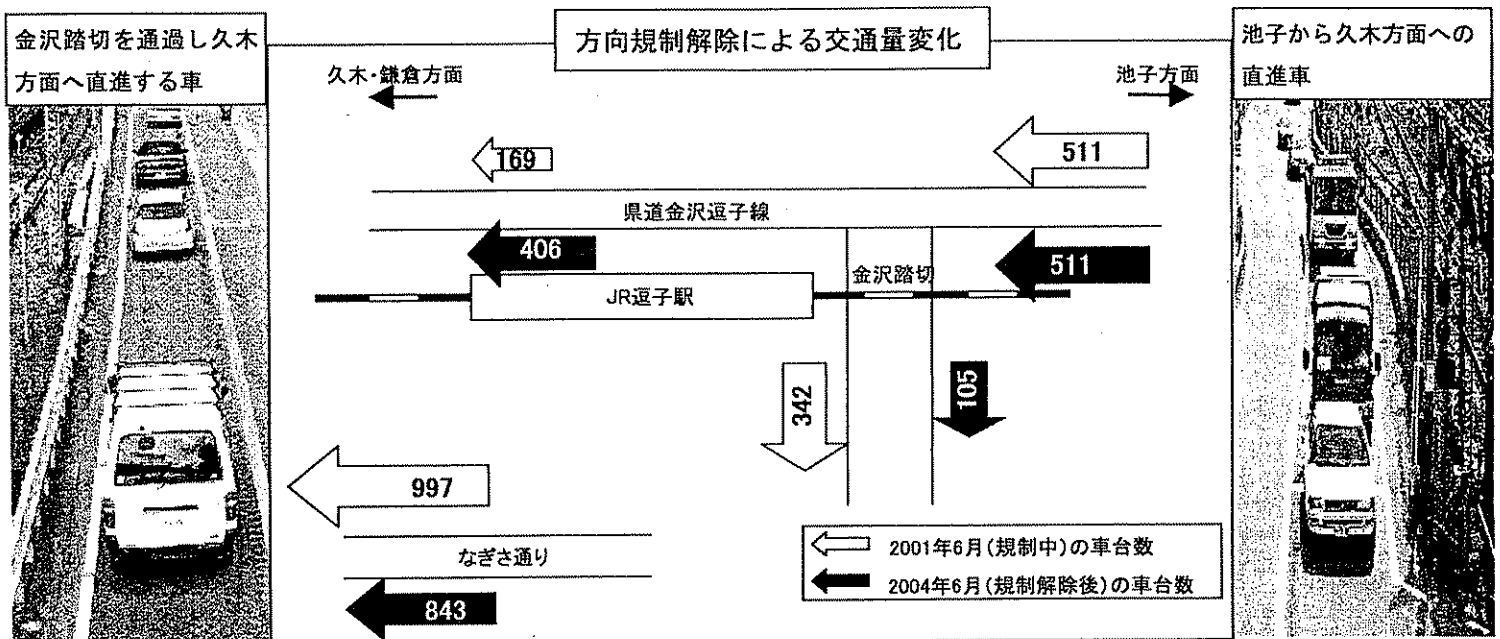
ダイオキシン削減のための工事費など建設改良費をふくめると市民1人当たり1年間に約24,000円を負担していることになります。

ごみ処理費の有料が話題になっております。確かに有料化は減量の一助です。市民としても関心を持って、今後研究していかなくてはと考えております。

## 二酸化炭素削減部会

### ●JR 駅北口付近の方向規制解除による南口の渋滞緩和●

2004年5月1日からJR 逗子駅北口に隣接する県道金沢逗子線の一方通行規制(7:30~8:30am)が解除され、双方向の交通が可能になりました。この結果の車の流れを比較しました。測定は、2001年6月(規制中)と2004年6月(規制解除後)に7:00~9:00amの間で行いました。



☆規制解除後は、池子方面から金沢踏切への左折車が大幅に減り、これが“なぎさ通り”の渋滞緩和にも寄与していることが示されています。

.....  
 周辺住民の皆さんの声が原動力となって、このような規制解除による交通事情の改善がなされました。  
 地球温暖化対策の小さな一歩です。  
 .....

### ●逗子に風力発電を導入し地球温暖化防止に貢献しよう●

逗子は、年間平均風速 6m/sec (横浜 5.6m/sec 川崎 3.5m/sec) と比較的風が強く、高台に設置すれば、風力の更なる増加が期待できます。しかも発電量は風速の3乗に比例するのでメリットは大きいです。騒音の発生もどんどん改善されています。また、風力発電の設備費は、23万円/KW (容量 2000KW で、投資額 4億6千万円 約 750世帯分 (逗子市の世帯の 3.7%) の電力量に相当) と太陽光発電の 70万円/KW よりもはるかに安いです。ただし、太陽光発電設備と異なり、一般には、設備が大型のため (発電効率向上) 資金面では行政主導による市債の発行等に頼らざるを得ませんが、その安価なエネルギーのメリットは、何らかの形で、私達市民に還元される事が期待できます。ちなみに、東京・江東区は、独自で風力発電を行っており、横浜市も 2006年 から稼働予定です。一方ユニークな形をした小型風車も続々と登場し、「すき間」的に普及が進んでいます。今後の風力発電に関する情報に常にご注目下さい！

### ●エコファミリーチャレンジ (市民版 ISO) の発足 予告●

今日の地球の危機的な状況に歯止めをかけるために、逗子市は、環境負荷を軽減する日常の暮らし方に (環境 ISO 方式を参考に) 家族ぐるみで取り組む仕組み (案) を考えました。この案は市民の有志の方々にあらかじめ実践していただき、修正されて 2005年 4月 から発足する事になりました。皆さんふるってご参加ください。3月 から募集を開始するために目下募集要項を作成中です。

環境会議ニュース : 3月 5日 発刊予定

【エコファミリーチャレンジ (市民版 ISO) 特集号】A4 版

